



医療連携室 TEL & FAX 03-3364-0366

「つつじ」の発刊によせて

社会保険中央総合病院
院長 斎藤 寿一



新宿、中野そして杉並区の医師会の先生方には日頃、社会保険中央総合病院に対し種々お力添え下さり大変に有難う存じます。お陰様で当院も開院以来半世紀を越えて、東京北西部の一隅で着実な歩みを続けております。しかしながら患者やご家族の方々のニーズは日々多様化しており、医療も複雑、高度化したこの時代を生きぬくには、地域の先生方と私共の病院との診病連携が一層求められていると考えております。この様な背景を踏まえて地域医療連携のための通信誌「つつじ」を発刊することといたしました。

当院の地域医療連携活動はまだ緒についたばかりです。まず、私どもは地域医療を支えて居られる先生方の医療機関の円滑なご活動とご発展のために、当院が担える役割は何かを考えてまいります。そしてそれを達成するための手順を当院に整えたいと存じます。当院は、主要な診療部門を備え、二次救急とも積極的に取り組みつつ、外来、入院とも軽症、重症を問わず先生方からの患者さまをお待ちしております。また放射線機器をはじめとする各種の検査や医療相談など包括的な地域医療のお役に立つ開かれた病院としての機能を今後一層充実させてまいります。患者さまの診療を軸として先生方の医療機関と当院が緊密につながり、患者さまの流れとしての円滑なループを完結させたいと考えております。

今年の5月からは1週間の糖尿病教育入院を開始いたしました。このコースでは日頃、糖尿病の患者教育や血糖コントロールにお骨折りの先生方から患者さまをおあずかりし、1週間の教育入院が終了した時点でご紹介の先生方へと患者さまにお戻りいただく診療バックアップシステムとなっております。

この「つつじ」の紙面を通じて先生方には当院のこのような現況を随時お届けし、また先生方からも当院についての忌憚のないご意見をこの紙面にお寄せ頂いて、地域医療連携の絆を強めることができると願っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

